第95回天皇杯・第86回皇后杯 全日本バスケットボール選手権大会
ファイナルラウンド

開催場所: さいたまスーパーアリーナ　Mコート
試合区分: No. 407 女　　女子決勝
期　　日: 2020(R02)年1月12日（日）　　クルーチーフ: 北沢　あや子
開始時間: 11:08　　終了時間: 12:41　　アンパイヤー: 熊谷　久美子、小田中　涼子

JX-ENEOSサンフラワーズ	○ 83	22 -1st- 16 22 -2nd- 11 17 -3rd- 12 22 -4th- 14 -OT1- -OT2- -OT3-	● 53	デンソー アイリス

JX-ENEOSサンフラワーズ

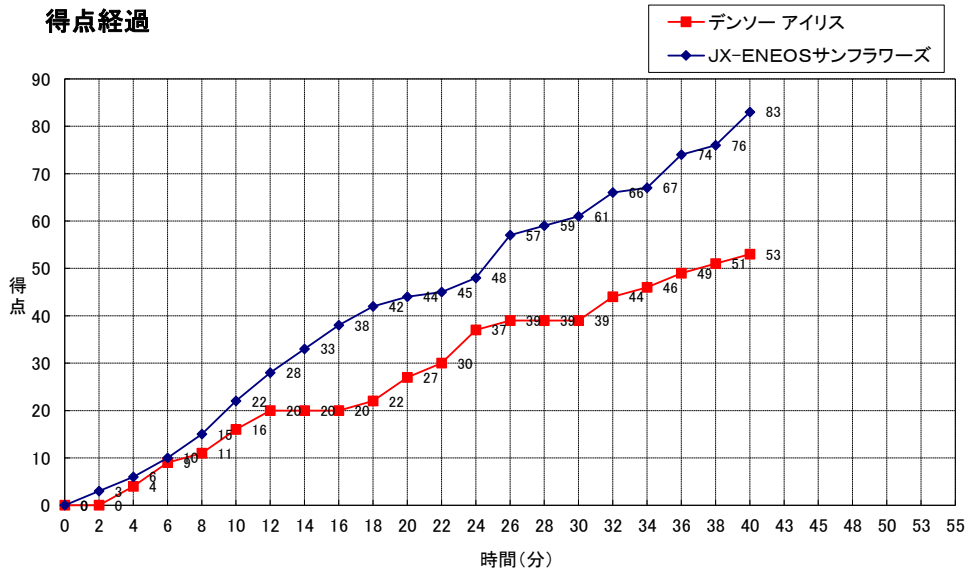
No.	S	選手名	PTS	3P FG M	3P FG A	2P FG M	2P FG A	FT M	FT A	PF TF	REBOUNDS OR	REBOUNDS DR	REBOUNDS TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
1		藤岡 麻菜美	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	DNP
2		奥山 理々嘉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1	0	0	2:22
5		藤本 愛瑚	3	1	2	0	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	6:11
7		林 咲希	9	3	4	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	13:53
10	*	渡嘉敷 来夢	11	0	0	5	8	1	4	2	1	9	10	1	3	0	3	31:27
11	*	岡本 彩也花	13	3	10	1	2	2	2	1	0	3	3	2	2	0	0	25:55
12	*	吉田 亜沙美	2	0	0	1	4	0	0	1	2	5	7	4	9	1	0	21:33
15		モハメド ファティマトゥ早野夏	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	DNP
23		大沼 美琴	3	1	5	0	1	0	0	0	1	0	1	1	2	0	0	13:21
25		石原 愛子	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	DNP
27		高田 静	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2:22
29		中村 優花	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3:43
32		宮崎 早織	7	0	2	2	2	3	3	3	0	0	0	0	4	0	0	16:17
33	*	梅沢 カディシャ樹奈	10	0	1	4	10	2	3	2	5	11	16	0	2	0	0	29:07
52	*	宮澤 夕貴	21	4	7	4	6	1	2	0	1	5	6	1	3	2	2	31:27
59		星 杏璃	2	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	2:22
HC		梅嵜 英毅 / TEAM	0	0	0	0	0			0	3	4	7	1				
合　計			83	12	31	19	38	9	14	10	13	41	54	13	27	5	5	200:00
				38.7%		50.0%		64.3%										

デンソー アイリス

NO.	S	選手名	PTS	3P FG M	3P FG A	2P FG M	2P FG A	FT M	FT A	PF TF	REBOUNDS OR	REBOUNDS DR	REBOUNDS TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
2		佐古 瑠美	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1:42
3		園田 奈緒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2:22
8	*	高田 真希	14	2	4	2	12	4	4	1	1	6	7	3	2	3	2	27:15
10		渡部 友里奈	2	0	0	1	3	0	0	0	0	2	2	1	1	1	0	13:20
11		笠置 晴菜	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	2	0	0	19:16
12	*	赤穂 さくら	6	0	0	2	6	2	2	4	3	2	5	0	1	1	0	26:24
13		伊集 南	0	0	2	0	1	0	0	0	0	1	1	2	1	0	0	14:20
14		石坂 ひなた	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	–	DNP
15	*	稲井 桃子	5	1	6	1	5	0	0	0	0	4	4	1	7	2	0	30:11
17		畠中 春香	6	2	3	0	1	0	0	3	1	1	2	1	0	0	1	11:59
20		近藤 楓	10	2	4	2	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	18:12
22		田村 未来	2	0	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2:22
23	*	篠原 華実	0	0	0	0	0	0	2	1	0	2	2	0	0	0	0	1:12
88	*	赤穂 ひまわり	8	0	2	4	11	0	0	2	1	4	5	0	1	2	1	31:25
HC		ヴラディミール　ヴクサノヴィッチ / TEAM	0	0	0	0	0			0	1	5	6	0				
合　計			53	7	21	12	46	8	10	15	7	27	34	8	16	9	4	200:00
				33.3%		26.1%		80.0%										

PTS: ポイント　M: 成功数　A: 試投数　%: シュート率
FG: フィールドゴール　3P: 3ポイントシュート　2P: 2ポイントシュート　FT: フリースロー
F: ファウル　OR: オフェンスリバウンド　DR: ディフェンスリバウンド　TOT: トータルリバウンド
TO: ターンオーバー　AS: アシスト　ST: スティール　BS: ブロックショット
MIN: 出場時間　S: スターター　OT: 延長

得点経過



ゲームレポート

【総評】
皇后杯の決勝戦としては2年ぶり5度目となるデンソーアイリスとJX-ENEOSサンフラワーズの対戦は、第1クォーターこそ競り合う展開となるが、第2クォーターにディフェンスのレベルを引き上げたJX-ENEOSが一気にリードを広げる。第3クォーター、デンソーは#8高田の3ポイントシュートなどで点差を詰める場面もあったが、JX-ENEOSが3ポイントシュートを効果的に決めてリードを広げていくと、最後までディフェンスの集中を切らさなかったJX-ENEOSが53-83で勝利し、皇后杯7連覇を達成した。

【第1クォーター】
ともに硬さの見られる立ち上がり、JX-ENEOSは#10渡嘉敷のフリースローで先制すると#52宮澤が1対1で続く。デンソーは#88赤穂（ひ）が連続得点をあげると、#8高田の3ポイントシュートで逆転する。デンソーの固いディフェンスを攻めあぐねていたJX-ENEOSだったが、#33梅沢のゴール下、#52宮澤のジャンプシュートで再びリードを奪う。終盤、#11岡本から#10渡嘉敷への連携が決まってJX-ENEOSがリードを広げるが、デンソーも#20近藤が3ポイントシュートを決め、#8高田もジャンプシュートで続く。しかしJX-ENEOSは#52宮澤の3ポイントシュート、#11岡本のフリースローで押し返し16-22、JX-ENEOSが6点リードで第1クォーターを終える。

【第2クォーター】
#20近藤のドライブでデンソーが先に得点を動かすが、JX-ENEOSはすぐに#52宮澤の3ポイントシュート、#32宮崎のバスケットカウントでリードを広げる。ゾーンディフェンスを敷いていたデンソーは#88赤穂（ひ）から#12赤穂（さ）につながる速攻を決めるが、JX-ENEOSは交代で入った#7林の3ポイントシュート、#12吉田のドライブで再びリードを広げ始める。追い上げたいデンソーだがJX-ENEOSの固いディフェンスを攻めきれず、JX-ENEOS#7林の3ポイントシュート、#10渡嘉敷の連続得点などでさらにリードを広げられていく。終盤、デンソーは#12赤穂（さ）、#20近藤が立て続けにシュートを決めるが、大きな流れを作れないまま、27-44でJX-ENEOSがリードして前半を折り返す。

【第3クォーター】
#15稲井の3ポイントシュートで後半をスタートさせたデンソーは、ディフェンスでもゾーンディフェンスでJX-ENEOSの攻撃を封じていく。デンソーはさらに#8高田が3ポイントシュート、#88赤穂（ひ）のバックカットなどで11点差にまで詰め寄るが、JX-ENEOSは#52宮澤、#11岡本が3ポイントシュートを3連続で決めて、再びリードを18点差に広げる。固いディフェンスでデンソーのオフェンスを封じたJX-ENEOSは、さらに#11岡本の個人技、#52宮澤のスティールで得点を重ねていき、39-61とリードを広げて第3クォーターを終える。

【第4クォーター】
#23大沼の3ポイントシュートで最終クォーターをスタートさせたJX-ENEOSだったが、デンソーも#88赤穂（ひ）のドライブ、#17畠中の3ポイントシュートで対抗していく。若手をコートに送り込んでいったJX-ENEOSだったが、#33梅沢がペイントエリア内で得点を重ねると、#5藤本の3ポイントシュート、#32宮崎のドライブでリードを保っていく。デンソーは#17畠中が3ポイントシュートを決めるが、JX-ENEOSの強度の高いチームディフェンスを崩すまでには至らない。最後まで集中力を欠かさなかったJX-ENEOSが#59星のドライブ、#7林の3ポイントシュート、#27高田のドライブで得点を積み上げて53-83で勝利し、7年連続24回目の皇后杯優勝を決めた。

担当者: ()

公益財団法人日本バスケットボール協会